PRIDE

小松川第二中学校 第１学年

令和６年 12 月 20 日（金）

【コマⅡ生になる】ということ　第５回　（不定期連載）

あと5日で2学期が終わり、あと 10 日あまりで令和6年・2024 年が終わります。

ご先祖様たちが「暦（カレンダー）」という便利なものを創作してくれたお蔭で、私たちの生活には折に触れて「節目」がやってきます。これまでの節目を見つめ直し、新たな節目に向けて心構えを整えることができるのです。

その節目の一つとして、「今月が終わる」ということが、１年生諸君にとってどんな節目になっているか、自覚がありますか？

12 月 31 日、それは、**3年間の中学校生活の「4分の１」が終わる日**なのです。

「まだ4分の3もあるのかぁ！」と楽天的に思える人もいるかもしれません。

でも、そういう人にこそ真剣にわが身に問いかけてほしい。

この「4分の１」で、中学生としてどれだけ成長することができたのか、と。

残る「4分の3」を、中学生としてどのように過ごしていくべきなのか、と。

○　●　○　●　○　●

コマⅡ生は、代々ボランティア精神の旺盛な生徒ばかりでした。誰かの力（助け）を必要とする場面があると、すぐに誰かしらが飛んできます。

第6号（5月 24 日発行）にも書きましたが、運動会などの大きな行事の準備や後片付けはあっという間に終わります。先生たちが下手に手出しをするよりも、3年生を中心とした生徒たちに任せた方がよっぽどスムーズに進みます。

一つには、**「担当者任せにはしない」という雰囲気がある**ということ。

大勢で作業に取りかかりますから、当然役割分担があります。役割によっては、他よりも早く終わることだってあります。

重い荷物を何度も運んだり、身の回りのあちこちを汚しながら作業することもあります。それが済んだら、「あぁ、終わった！」と力を抜くのが普通でしょう。

ところがコマⅡ生は、「あぁ、終わった！」とは思わないのです。

自分（たち）の担当する役割が早く終わったのだから、まだ終わっていないところ・手が足りないところの手伝いができる。そう考えて、自ら次の仕事を探して回るのです。イヤイヤ手伝う雰囲気は、微塵もありません。

そして、生徒たちに任せた方がスムーズに進むもう一つのポイントは、そうした**作業を楽しんでいる生徒が多い**ということです。

自分たちで行事を作り上げること。自分たちの学校に貢献すること。自分たちの力をみんなのために使うこと。

それらに誇りを感じているのではないでしょうか。

そうした誇りを、日常的に見ることができるのが掃除の時間です。

実は、中学校の教師にとって、掃除の時間は気疲れする時間です。

多くの中学校では、「① 当番全員に」「② 最後まできちんと掃除させる」の2点がひと苦労だからです。

もちろんどの学校にだって、コマⅡ生のように丁寧に掃除に取り組む生徒はいます。その一方で、その場から姿をくらまして"脱走"する生徒がいます。勝手に下校する、他の掃除場所で一緒に怠けたり邪魔したりするなどなど、それらの指導に手を焼きます。

そうして怠ける生徒がいる中では、まじめに取り組もうとしている生徒だって気持ちが弱くなり、次第に掃除の仕方が雑になっていきます。何となく掃いて、何となく拭いて、何となく机を並べて……などと、きちんと最後までやり切れなくなるのです。そ

れを「しっかり最後までやろう」と指導するのも、骨が折れる場面です。

入学以来、本校の先輩たちにそんな姿を見たことがあるでしょうか？　上に紹介したような「多くの中学校」の例は、コマⅡ生には全く無縁です。

そして、そんな掃除熱心なコマⅡ生の真骨頂が、学期末の大掃除での取り組み方です。

遊んでいる生徒や他の清掃場所の邪魔をする生徒など、一人としていません。誰もが時間を忘れたかのように掃除に没頭するひとときです。

毎回、終了時刻までに全てが終わって片付けが済んだ……などという話を聞くことがありません。「決まった時間が経ったからもうおしまい！」とばかりに途中で投げ出す人がいないのです。多くは先生たちからの「もうそろそろ終わりにしよう！」の声で、ようやく片付けに取りかかるほどです。

この校舎ができてから6年9か月経ちますが、これだけきれいな状態が維持できているのは奇跡的です。

この違いはどこから来ると思いますか？　それは、「**誰のためにやっているのか**」という意識の持ち方の違いです。

「多くの中学校」では、残念ながら『自分のため』にやっています。いえ、『自分のため』にしかやらないのです。ですから、適当だろうが雑だろうがサボりだろうが、自分が「それでいい」と思えばそれで終わりです。

コマⅡ生は違います。『みんなのため』『誰かのため』に力を尽くしたいと思っています。そうした、不特定多数の『誰か』を思うと、「こんなもんでいいや」などと投げやりな気持ちは起こりません。逆に、少しでも心を込めて、丁寧に手間をかけようとするものでしょう。

先日の、生徒会本部主催の落ち葉拾いボランティアにも、早朝から多くのコマⅡ生が参加していました。

寒い朝、1分でも長く寝ていたいという当然の思いを振り切り、学校のため・地域のために、その貴重な睡眠時間を捧げてくれた人たちです。どんな感謝の言葉をもらえたとしても、その活動は『自分のため』なんかではありません。

常に『自分のため』しか考えずに好き勝手な行動ばかりしている人は、一人ではどうにも解決できない場面に陥っても、周囲は「あんな身勝手なヤツのことなんて、助けてやるもんか」と手を貸してはもらえないでしょう。孤立です。

反対に、『誰かのため』に行動することができる人は、自分が本当に困った状況に陥ったときに、周囲の人たちに快く助け船を出してもらえます。「あの人のためなら力になりたい」と思ってもらえるようになるのです。

互いに励まし合い助け合う集団とは、こういう人たちが集まって育っていくものなのです。

来週 24 日(火)にひかえている大掃除に取り組む中で、真剣に自問自答してみましょう。

「自分は今、**誰のために**この掃除をしているのだろうか？」と。

それが、冒頭に掲げた2つの問い、【この「4分の1」で、中学生としてどれだけ成長することができたのか】【残る「4分の3」を、中学生としてどのように過ごしていくべきなのか】への回答につながるはずです。

【コマⅡ生になる】道は、これからもまだまだ、足元を延びていっています。　□

来週の予定

日にち	曜日	内　容
１２月２３日	月	５０分×６　① 学活～鎌倉校外学習・班コース作り　完成
２４日	火	５０分×６　⑤ 自衛消防訓練　⑥ 大掃除　【ジャージ登校】
２５日	水	４５分×４＋終業式　① 学年集会　②～④ 授業　【給食　あり】
２６日	木	冬季休業日
２７日	金	冬季休業日　【２９日(日)～１月３日(金)は閉庁期間のため、校内に出入りできません】